

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年7月28日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

アメリカのいらいになるな！ 国民皆保険制度を守ろう！

北海道医師会・長瀬会長と大橋会長、黒川名誉会長が懇談

27日、大橋新会長と黒川名誉会長は、新任のあいさつのため北海道医師会館を訪問し、長瀬清会長と懇談しました。

長瀬氏は、「アメリカの言いなりになり、国民皆保険制度を壊してはいかぬ」と、TPPの危険性と参加しない取り組みも強調しました。

「社会保障・税一体改革」の終末

期の環境整についての話題では、在宅医療への誘導について「日本医師会の会議でも、都市部だけでなく、北海道などの事情を踏まえてものにするように話している」と紹介。今度も、情報交換していくことにしました。

24日には、北海道保険医会の小笠原俊一会長にも、新任のあいさつをして懇談しています。



増税反対の声が多数をしめる

函館市・小樽市で開催

「明日の安心対話集会」

会場前で宣伝署名行動も

22日（日）、函館市、小樽市で、政府主催の「明日の安心 対話集会」が行われ、政府側から岡田副総理が参加しました。集会では、地域の社保協や消費税廃止各界連の代表が「社会保障・税一体改革」をやめるように発言しました。集会会場前でも宣伝署名行動も行いました。

函館 社会保障・税一体改革 反対意見続出 **小樽** 公共事業費への利用で質疑

集会で、岡田副総理は、改革の根拠として、欧州の経済危機や東日本大震災の復興を上げ、3党合意について「持続可能な形をつくるためには仕方がない」と、言い訳に終始しました。

函館では質疑応答では、40分と短時間でしたが、消費税各界連のメンバーも、中小企業の消費税を軽減できない現状を訴え、「地方ほど消費税の滞納が多い、増税すべきではない」「若い人の働く場がなく、結婚もできない。増税されればますます悪化する。『明日の安心』なんてとんでみない」と発言。他の参加者からも、「若いお母さんたちは、将来が不安で子どもをつくるのができない」「消費税を上げる前に、もっと他に削るところがある」

など、消費税増税に反対する声が多数を占めました。また質疑も一方的で対話とは言えず、会場からも不満が出されるなど、一体改革への理解は得られない実態が浮きぼりになりました。

小樽では、消費税法案の附則に加わった公共事業への利用問題も質疑応答に。岡田氏は「消費税は社会保障しか使わない」といつつ「赤字の要因なので穴埋めに使う」と答え、増税して増えた予算で公共事業に使うことには説明を避けました。

「消費税増税絶対反対」と署名する人も

集会前には、厳重な警備で物ものしい中、会場周辺で宣伝署名行動も行いました。「消費税増税は絶対反対」と署名に応じる女性や、チラシを受け取って「頑張って」と励まされる場面もありました。（消費税廃止函館各界連ニュースなど）

驚きの岡田克也氏のブログ

反対意見が続出した北海道の対話集会をおえた後のブログで、「国民のみなさんの理解実感」「絶対反対の声は小さくなってきている」と話しています。



反対の意志を、政府、政党、国会議員へ送りましょう！

次の宣伝行動は 8月2日(木) 昼宣伝

12:15~12:45 紀伊国屋札幌本店周辺